

若葉台地区社協だより

発行／若葉台地区社会福祉協議会 会長 太田 正廣
旭区若葉台3-2 連合自治会館内



第41回 若葉台文化祭

- エジョえじよフェスタ ふれあいコーナー -
11月22日(土)～11月24日(月)



若葉台地区社会福祉協議会として、若葉台文化祭の展示コーナーに参加しました。

障がいがあっても、なくても、地域共生社会を目指す、住民の理解を相互理解を深め、支援の輪を広げる目的での参加です。

作品提供には、若葉台小学校、若葉台中学校、若葉台特別支援学校、テクテクの会、裕楽会、虹のかけはし、旭区内作業所、若葉台ぶんげいざ、第2作業所わっかにご協力いただき、ありがとうございました。

2日半の展示でしたが、それぞれの作品を大勢の方々に見ていただきました。今後も地区社協は応援していきます。来場された住民の方々との情報共有のコミュニケーションの場が設けられなかったことは残念でした。



(写真上) 若葉台小学校の展示コーナー



(写真上) 若葉台中学校の展示コーナー



(写真上) 若葉台地区社会福祉協議会の展示コーナー



第34回福祉まつり

若葉台地区社会福祉協議会感謝デー
11月29日(土) 若葉台地区センター

今年も若葉台文化祭に合わせ、感謝デーを開催しました。カレーライス、珈琲、お茶、子供バザー品、雑貨などを提供しました。若葉台特別支援学校には、マドレーヌ、クッキーをつくっていただき、メニューの中もひろがり、好評でした。食事スペースが満員になってしまい、幸い天候にも恵まれたので、屋外のスペースもお使いいただきました。

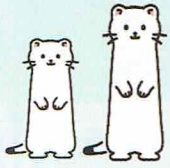
PTA や児童のボランティアさんにもご協力いただきました。女の子らが、楽しんで売り子をやってくれました。来年は数量を増すことも検討し、この機会に地区社協をより知っていただく工夫をしたいと思います。



(写真左)
受付の様子
(地区センター入口)



(写真下)
飲み物コーナー

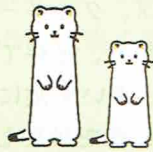


賛助金意見書

若葉台地区社会福祉協議会に寄せられる賛助金には、多くの貴重な意見が添付されている。感謝のことばや意見書の差出人不明の場合もあるが、多くは若葉台住民からの貴重な意見・提言と解釈している。その意見の中身は若葉台における福祉活動に対する意見もあるが、若葉台全体の今後のあるべき姿への意見・提言も含まれている。

そこで、今年度は若葉台地区社協理事会内に意見書部会を設置した。部会では提出された意見そのものを議論することはもちろん、多岐にわたる意見を分類し纏め、その意見に対応すべき団体を定めご意見を伺うこととした。すなわち、賛助金に同封されていた意見について議論を重ねるとともに、関連する諸団体にも年度末の多忙時期とは思われるが、それらの意見に対する回答・対応策等を提出していただくことにした。地区社協役員が関係機関に情報を提供し、それらからの報告を受け、次号以降の社協だよりに掲載の予定です。

広場に時計設置



前若葉台地区社協会長時代に賛助金意見書で“石の広場（通称・じゃぶ池公園）”に、子ども達が遊んでも時刻が分かる時計の設置が要望されていました。

設置場所の選定、費用負担などでなかなか折り合いがつかず時間がかかってしまいましたが、漸く、写真に示すように、まちづくりセンターの協力で長年の懸案だった“石の広場（通称・じゃぶ池公園）”内街灯に時計を設置することができました。辺りが薄暗くなっても街灯直下なので遊びに夢中な子ども達も見えています。若葉台地区社協に寄せられた住民皆さんからのご意見と経済的な支援の賜物と感謝しています。



(写真上) 若葉台“石の広場”（通称じゃぶ池公園）
街灯下に設置された時計

わかばダイバーシティスペース

Wakka（わか）

からのお知らせ



朝, Wakka に来ませんか！

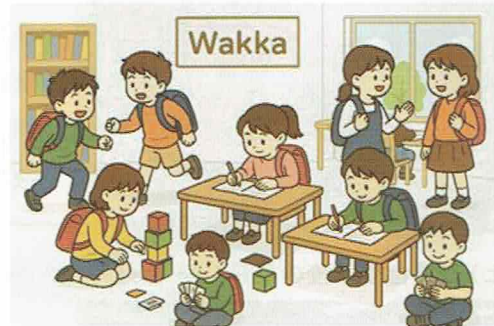
開設日：若葉台小学校の開校日 朝7時～8時

Wakka で朝の子ども達の見守りプロジェクト

居場所：Wakka（ショッピングタウンわかば内）

対象：横浜市立若葉台小学校在校生

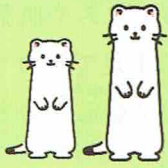
見守り：若葉台地域ボランティア



募集期間：2026年1月10日～2026年3月30日

- ・Wakka で子どもたちを見守ります。
- ・本プロジェクト利用の子どもさんを、午前7時～午前8時までに保護者がご自宅からWakkaまでお連れ下さい。
- ・朝ごはんはご自宅で食べて下さい。
- ・保険料はご家庭持ちです。
- ・居場所使用料の家庭負担はありません。

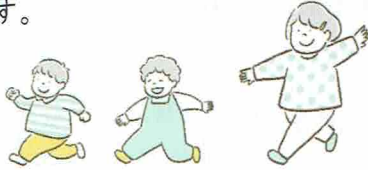
主催：若葉台地区社会福祉協議会、若葉台連合自治会、認定NPO法人若葉台
問合せ先 電子メール wakabedai-chikushakyo@outlook.jp



若葉台プレイパーク

～「ケガと弁当は自分持ち」～

子どもたちの自由な発想を大切にして、自然の中で大人もいっしょに楽しむ遊び場です。持ち寄ったものをたき火で焼いて食べたり、ロープを使った遊びや木工、シャボン玉など、毎回いろいろなあそびが展開します。



小さいお子さんからお年寄りまで、
みんなで遊べる場所
それがプレイパークです!

プレイパークは“いつ”“どこで” やっているの？

毎月第4土曜日は、大貫谷公園で開催しています。
水曜日（不定期）は、アスレチック広場やなののはな公園で開催しています。土曜日は9:30～15:30、水曜日は10:30～16:30で実施することが多いです。

※実際の開催日や実施時間は、予定表でご確認ください。



開催しているときは、いつものぼりが立っています。
お見逃しなく!!



● プレイパークの様子 ●

(写真右)
竹馬遊び



大貫谷公園の
あそびは楽しいな～♪



(写真上) ロープ遊び



この人は誰かな？



若葉台プレイパークのポップコーンおじさん、ルイージ俵口泰生さんです。
長年の若葉台プレイパークでのボランティアで旭区社会福祉協議会の【社会福祉功労表彰】を受けられました。おめでとうございます。これからもポップコーンいっぱい作ってね♥



(写真左)
ボール遊び



ええ～!!
プレイパークにはメダカも出てくるの？



(写真上)
石の広場への出張プレイパーク



～体の冷えと肌トラブルの関係～

(横浜調剤薬局)



寒い時期になると、「手足が冷える」「肌が乾燥してかゆい」といった悩みが出てきますよね。薬局でもこういった相談をされる方は少なくありません。実は、体の冷えと肌トラブルは深く関係しています。

体が冷えると血流が悪くなり、皮膚まで栄養が届きにくくなります。

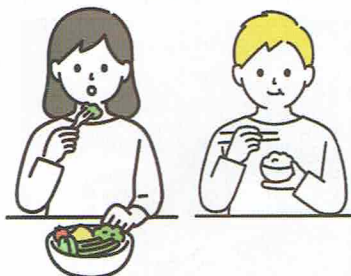
そのため肌のバリア機能が低下し、乾燥やかゆみ、湿疹などの肌トラブル

を起こしやすくなってきます。冷え対策としては衣類や暖房、入浴などがありますが、食事による対策も重要になってきます。



まず、意識したいのは体の熱を生むタンパク質(肉・魚・卵・大豆製品)です。タンパク質は筋肉・髪・肌などの組織づくりに欠かせない栄養素で、バランス良く取ることで冷えにくい体づくりとなります。

次に、血行を良くし肌の新陳代謝を高めるビタミンE(かぼちゃ・ナッツ類)や、肌の新陳代謝や血液循環を良くするビタミンB₂(レバー・乳製品・青菜)、タンパク質をアミノ酸に分解し肌や粘膜の成長を助けるビタミンB₆(レバー・魚介類)、体内でコラーゲンの生成を促すビタミンCも取り入れたい栄養素です。



ビタミンA(レバー・うなぎ・緑黄色野菜)は不足すると粘膜が乾燥しやすく、肌のかさつきが出やすくなります。

また、女性は鉄分や亜鉛も大事です。鉄分が不足すると体の隅々まで酸素が運ばれないので肌のくすみや肌荒れを起こし顔色が悪くなる場合や、亜鉛の不足で肌のうるおいが乏しくなり小ジワやシミの原因になる場合もある様です。鉄と亜鉛は体内で作り出せない

ので食事から取り入れる様に心がけましょう。更にお伝えしたいのは保湿剤の使い方です。肌が乾いてから使用するのではなく、入浴後など肌が少し湿っているうちに使用することで水分を閉じ込めやすくなります。毎日の習慣としてつづけていくことが肌トラブル予防の基本になります。ただし、かゆみや赤みが強い時は、肌トラブルが悪化する前に医師に相談する様にしましょう。

戦争のない日本を求めて

(戦争体験を語り継ぐ若葉の会)

本会は、名称が示すように戦争体験を語り、二度と戦争を起こさない日本を求めて活動しています。終戦から80年、戦争を知らない国民が多数を占める今日、今後の日本を担う若人に、戦争のない日本を引き継ぐことが本会の願いです。コロナ渦の時期は活動が休止状態になったこともありましたが、昨年は星槎高校、若葉台中学校、若葉台小学校の各校で講話活動をする事ができました。また、終戦記念日の8月15日に開催した集会では、多くの参加者が自らの戦争体験を語り「戦争はダメ」との発言に賛同の大きな拍手。例年参加している11月下旬の「若葉台文化祭」では戦時中の展示物に食い入るように眺めながら「戦死した祖父を思い出しました」と語りながら、「こうした展示も大切ですね、戦争しないためにも」と語った女性。こうした活動ができるのは、若葉台地区社会福祉協議会よりいただく助成金をはじめ、賛同してくださる団体・個人様のご支援が欠かせないと痛感、改めて感謝致しております。

編集部だより

過日テレビ番組で、日本は世界的に見て、地震や噴火が特に多い地域で、縄文時代から、災害が起きるたびに皆で助け合い協力し合って乗り越えることを繰り返してきたそうです。その為日本人特有のDNAができたとか。自然災害ではありませんが、住みやすい街づくりにも、困った時はお互い様、みんなで助け合う気持ちを持ち続けていきたいですね。(S)